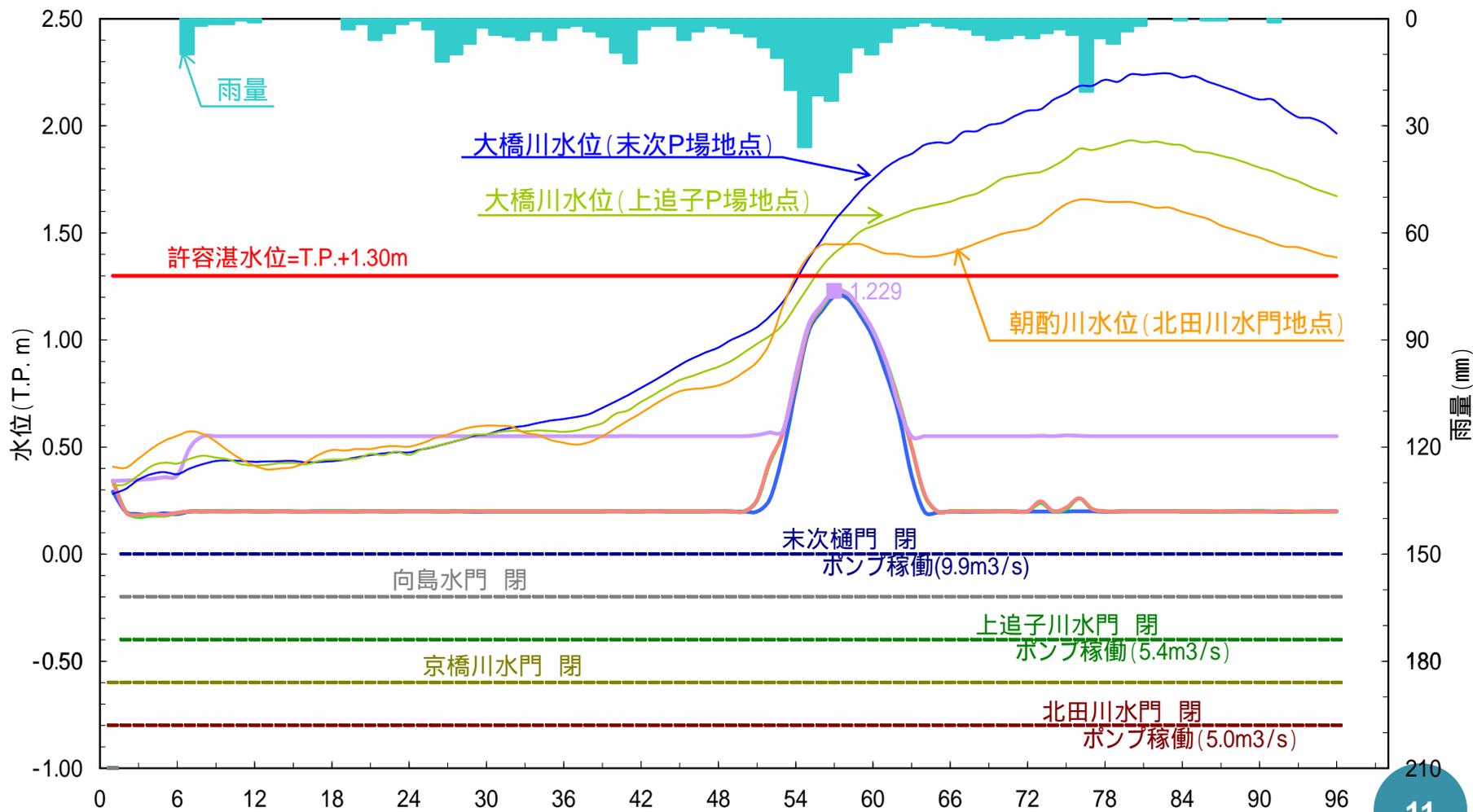


● 解析結果(北田川案)

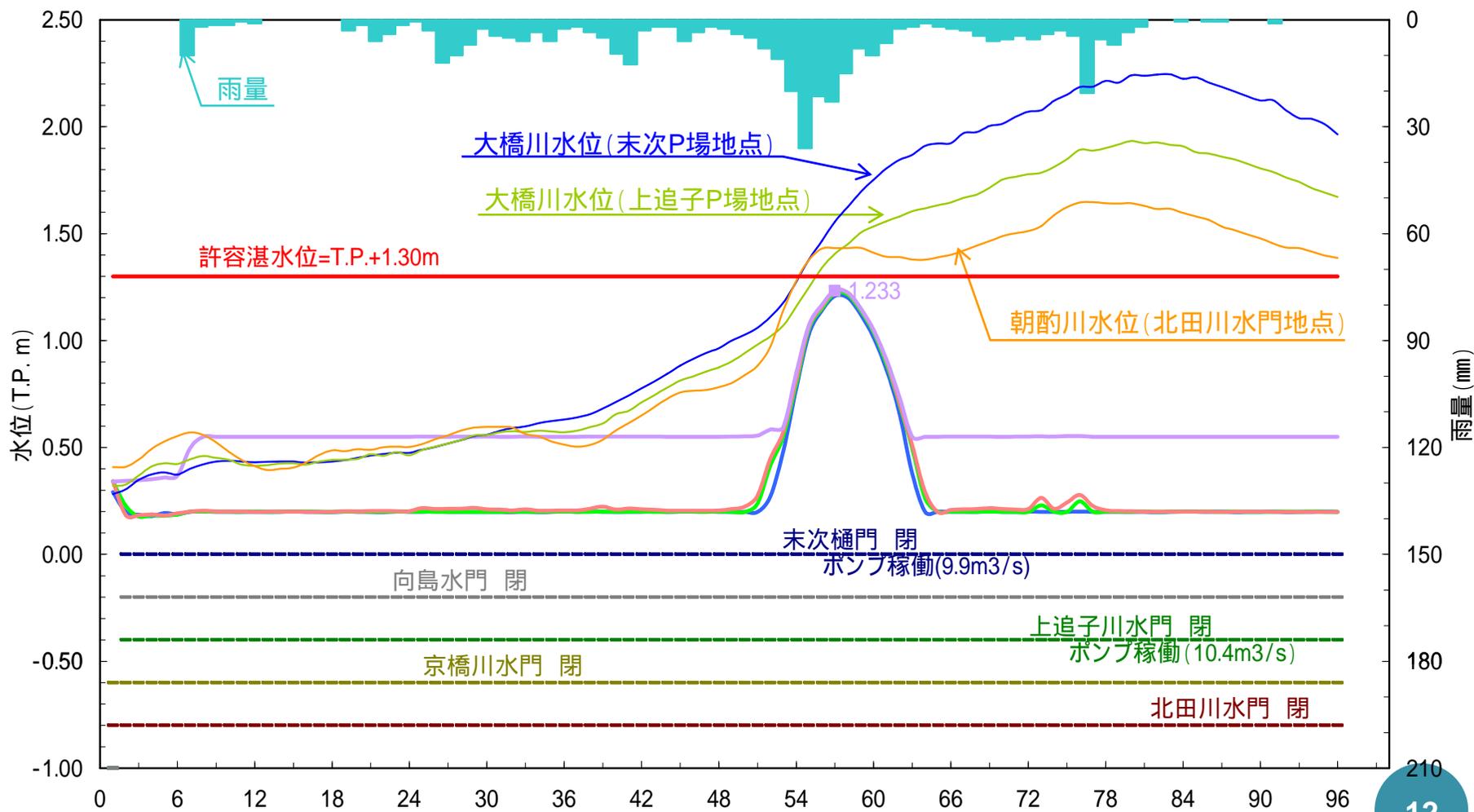
昭和47年7月洪水
 (ダム・放水路建設後、大橋川築堤護岸・水門整備後、朝酌川改修前 **北田川P5t新設**)



雨量	四十間堀川水位	上追子川水位	北田川水位
比津川水位	大橋川水位(未次P地点)	大橋川水位(上追子P地点)	朝酌川水位(北田川水門地点)

● 解析結果(上追子地区案)

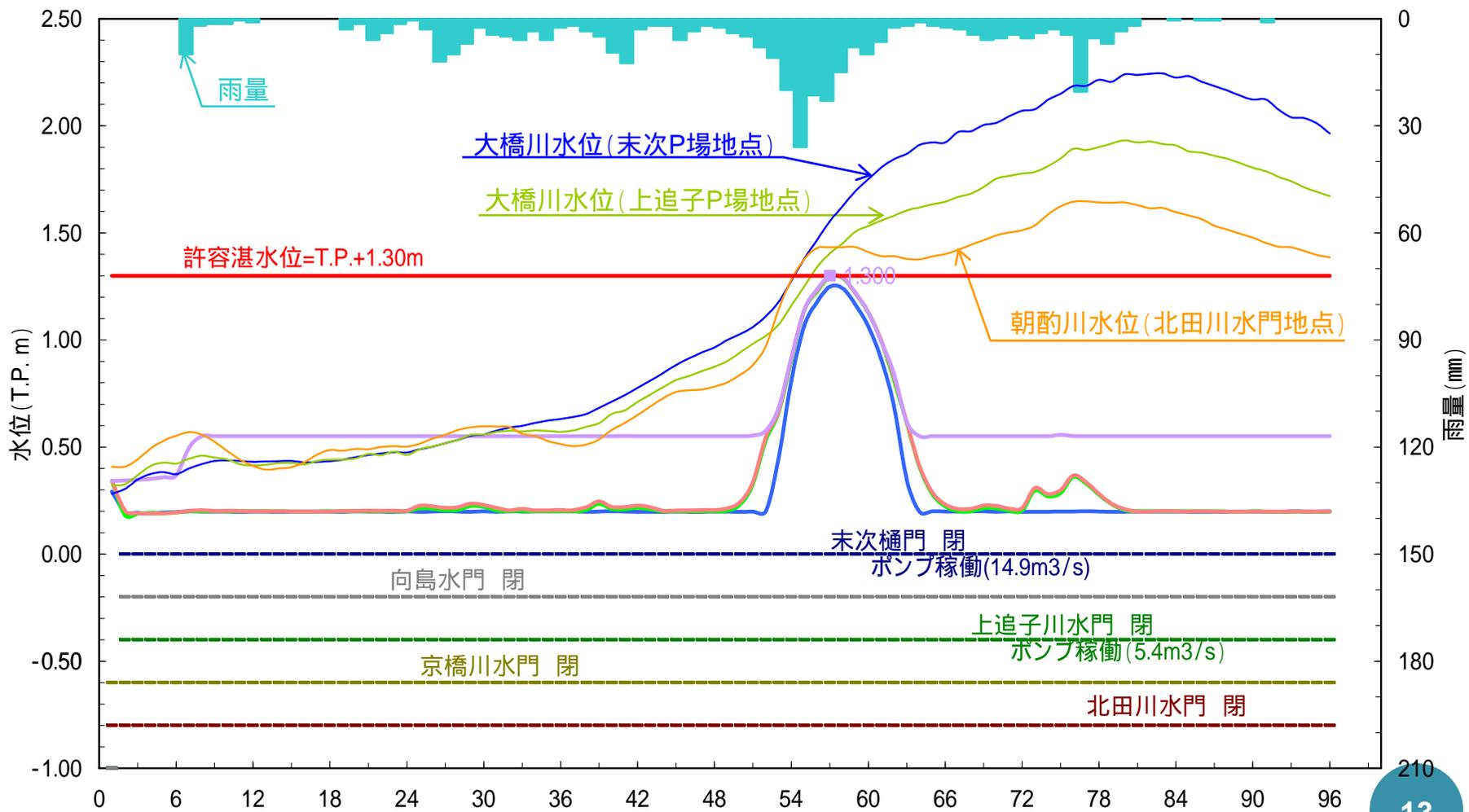
昭和47年7月洪水
 (ダム・放水路建設後、大橋川築堤護岸・水門整備後、朝酌川改修前 **上追子P5t追加**)



雨量	四十間堀川水位	上追子川水位	北田川水位
比津川水位	大橋川水位(末次P地点)	大橋川水位(上追子P地点)	朝酌川水位(北田川水門地点)

● 解析結果(末次地区案)

昭和47年7月洪水
 (ダム・放水路建設後、大橋川築堤護岸・水門整備後、朝酌川改修前 **末次P5t追加**)



■ 雨量	— 四十間堀川水位	— 上追子川水位	— 北田川水位
— 比津川水位	— 大橋川水位(末次P地点)	— 大橋川水位(上追子P地点)	— 朝酌川水位(北田川水門地点)

● ポンプ設置箇所選定結果

項目 \ 案	北田川案	京橋川案	上追子地区案	末次地区案
内水排除効果		()		
コスト				×
地元合意				
事業の早期実現	×	×		×
総合評価	×	×		×

京橋川案では内水解析を実施していないが、内水排除効果は北田川案と同等であると判断した。

- ・ 北田川案・京橋川案については、塩分を含む松江堀川の水を淡水域である朝酌川へ排水すること、ポンプ排水により朝酌川水位が現状より上昇することから、その対策(塩分対策・水位上昇対策)を講じる必要がある上、関係者の理解が得られにくいことから、コスト・地元合意・事業の早期実現という点で不利である。
- ・ 末次地区案については、内水排除効果が他案よりも低い上、既設ポンプ場に増設するスペースが無く、新たに排水路・水門を整備する必要があるため、コスト・事業の早期実現という点でも不利である。
- ・ 上追子地区案については、大橋川改修事業により早期に築堤・護岸、水門を整備することで、事業の早期実現という点でも他案より有利である。

橋北地区内水排除ポンプの設置箇所は、上追子地区案が最適である。

3. 二次内水対策

主な対策

- 松江市公共下水道事業(雨水排水)の推進
 - 雨水管路の整備
 - 雨水貯留池の整備
 - 雨水貯留管の整備
 - 雨水ポンプ場整備 など

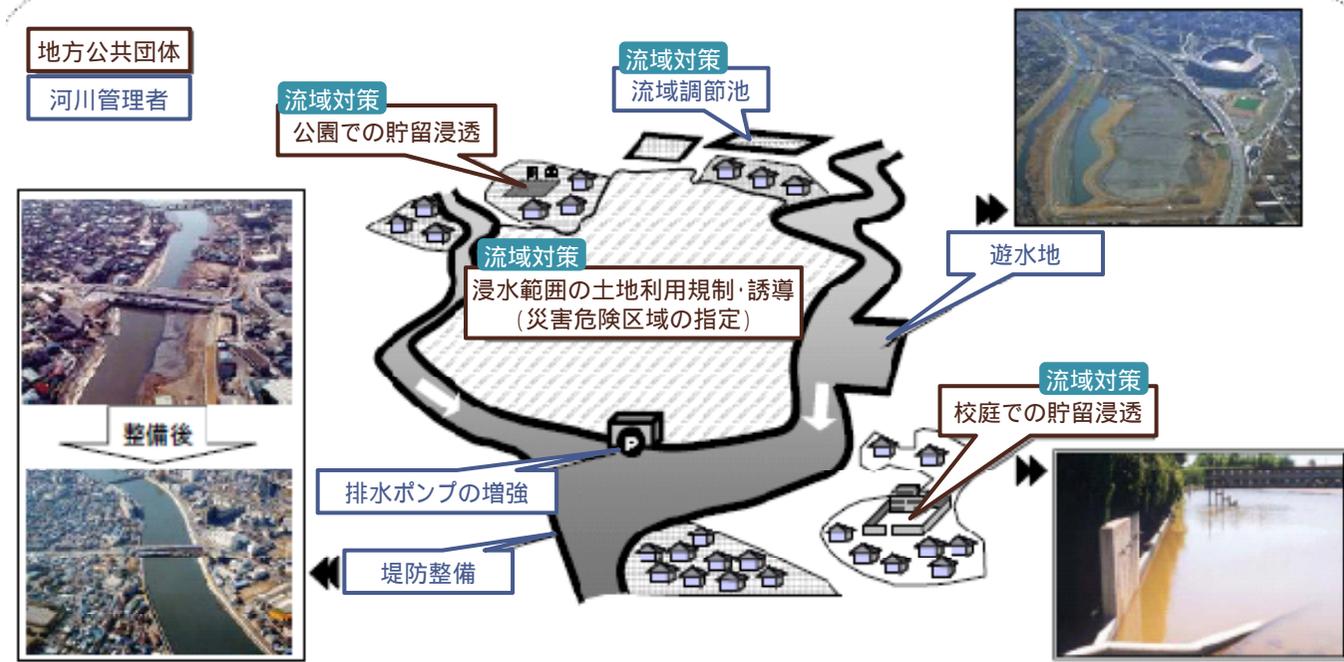
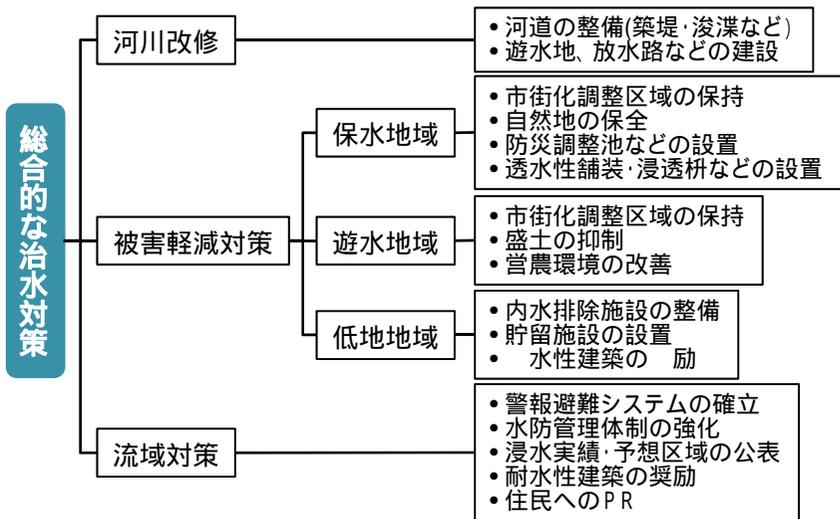
- 土地利用の計画的管理
 - 行政の適切な指導及び流出抑制の啓発 など

- 自助対策の支援
 - 各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援制度の検討
 - 止水板及び土のうの配布 など

4. 流域対策

【目】流域治水対策事業費補助(創設)

- 総合治水対策特定河川事業費補助
(都市河川改修費より移行)
- 土地利用一体型水防災事業費補助
(河川改修費より移行)
- 総合内水対策緊急事業費補助
(河川・都市河川改修費より移行、採択基準の強化)
- 調節地等整備事業費補助
(河川・都市河川改修費より移行、採択基準の強化)
- 流域貯留浸透事業費補助**
(総合流域防災事業より移行)



平成21年度に松江堀川流域の貯留浸透施設の候補地(ため池・校庭)について、その効果を検討する。

5. 今後の予定

